

1. 全般事項

- 1) 本誌は日本職業・災害医学会の機関誌で、投稿者ならびに共同執筆者も会員に限られる。
- 2) 投稿原稿は職業医学並びに災害医学に関する医学の進歩に寄与する原著論文、総説、展望、シンポジウム、症例、その他であって、他誌に掲載または投稿中でないものに限る。
- 3) 刷り上りは原著・シンポジウムは7頁(約8,400字)以内、総説・展望は9頁(約10,800字)以内、症例5頁(約6,000字)以内、文字数には図、表、写真、引用文献などを含む。
- 4) 他文献から引用した図、表(引用改変、転載)は著者の責任において許諾を得ること。またその旨を論文表紙に記載し、原稿には出典を必ず明示すること。自身が著者である出版物についても同様に対応する。

2. 論文の採択

投稿原稿の採否、掲載順序は編集委員会できめる。

3. 原稿について

1) 原稿の様式。

- (1) 原稿の文字はA4判に11ポイント以上の大きさで標準的なフォント(MS明朝、MSゴシックなど)を用いたMicrosoft社のWordでの作成を推奨する。各行に番号を入れること。頁数を必ず記入する。用語は常用漢字、現代仮名づかい、日本医学会用語を用いる。英文原稿はA4判紙にダブル・スペースで作成すること。
- (2) 表紙には①論文種別、②表題、③著者名、④所属機関名、⑤キーワード、⑥別刷り請求先、⑦連絡先(氏名、所属機関、住所、電話番号、電子メールアドレス)、⑧その他を記載する(②~⑥は和文と英文を併記)。
- (3) 和文原稿には800字以内の論文要旨(目的、対象、方法、結果、結論を含む)および英文抄録(ダブル・スペースで作成)をつけること。英文原稿には、和文の論文要旨(800字以内)をつけること。
- (4) 英文原稿および英文抄録は、英語を母国語とする外国人の校閲を受けた後、投稿すること。
- (5) 索引の分類に用いるため必ずキーワード5つ以内を和文および英文でそれぞれ付記すること。
- (6) 図(写真を含む)および表は出来る限り鮮明なものを、データとの対比確認用に別紙とし図1、表1、のように番号をつけ、原稿にはそれぞれの組み込み場所を指定すること。印刷に不適當である図、表原稿は再提出を依頼することがある。
- (7) カラー印刷を希望する場合、その旨を論文表紙に記載する。その際はカラー用の図、表を提出すること。製版、印刷の実費は著者負担とする。
- (8) 引用文献は主要文献のみとし、引用順に番号をつけ本文末尾に記載する。文中の引用箇所には文献番号をつけること(右肩付番号)。著者3名まで連記し、それ以上にわたるときは他(et al)とする。但し全部で4名のときは全員連記。なお、引用文献中、雑誌名の略記にはPubMed、日本医学雑誌略名表(日本医学図書館協会編)の形式によることとし、様式は下記によること。

2) 引用文献の記載。

(1) 学術雑誌

著者名：題名. 雑誌名 巻(号)：開始頁—終了頁, 発行年.

《例》

- 山田太郎, 川上 肇, 木村 茂, 佐藤元次：小児および青年の胆道疾患. 外科 30：413—420, 1975
- Weber AM, Roy CC, Morin CL, et al: Malabsorption of bile acids in children with cystic fibrosis, N Eng J Med 289: 1001—1005, 1973. ……., N Eng J Med 289 (5): 1001—1005, 1973.

(2) 著書

著者名：題名. 書名. 版. 出版社, 出版地, 発行年, pp 開始頁—終了頁.

《例》

- 審良正則, 森永謙二：臨床からみた石綿関連疾患 第1節 石綿肺, 職業性石綿ばく露と石綿関連疾患基礎知識と労災補償. 改訂新版. 東京, 三信図書, 2005, pp 161.
- Steel RGT, Torrie JH: Principles and Procedures of Statistics. New York, McGraw-Hill, 1960, pp 112—121.

(3) ウェブサイト・電子文献(DOIがある文献については、DOIを記載する。)

著者名：ウェブページの題名. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).

《例》

- 中央初回保険医療協議会. 平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)の結果について. 厚生労働省. 2010-9-7. <http://www.mhlw.go.jp/stf/singi/2r9852000001mxe9-att/2r9852000001olga.pdf>, (参照2014-11-03).
- NCCN Guidelines. National Comprehensive Cancer Network. http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/f_guidelines.asp#site, (accessed 2014-11-03).

- 3) 論文内容の倫理性を十分配慮する。臨床研究ではヘルシンキ宣言を遵守し、必要であればインフォームドコンセントの有無について明記する。また症例患者は匿名とし、患者が特定できる事柄は記述しないこと。動物実験では、動物の保護および管理に関する法律または各研究施設の倫理委員会の承認のもとに行なわれたことを明記する。

- 4) 研究および原稿執筆の過程において人工知能または同様のテクノロジー(ChatGPT等)を使用した場合、著者や共著者としては認められず、著者はその内容の責任を負い、謝辞あるいは本文中で使用を明記することが求められる(注：文法やスペルチェックのための使用は除く)。

4. 校正について

校正の初稿は著者校正とし、校正時に原稿(図表を含む)を変更することは認められない。再校は編集委員会があたる。

5. 著作権について

掲載論文の著作権は日本職業・災害医学会に帰属する(電子媒体も含む)。投稿にあたり共同執筆者を含め著者全員が署名した「著作権譲渡同意書」(別紙)を添付する。

